

「床下カラッと」の吸放湿性能試験結果

試験条件

温度：25℃ 一定

吸湿過程相対湿度：RH 70%&RH 90% 24 時間

放湿過程相対湿度：RH 50% 24 時間

試験方法

試験体を層厚 10 mm になるようにアクリル製容器（194 mm×94 mm）に敷き詰めた後、恒温恒湿器内に静置し、各相対湿度条件下における重量変化を経時的に測定した。なお、試験体は 25℃、RH 50%にて二日以上静置した後、試験に用いた。

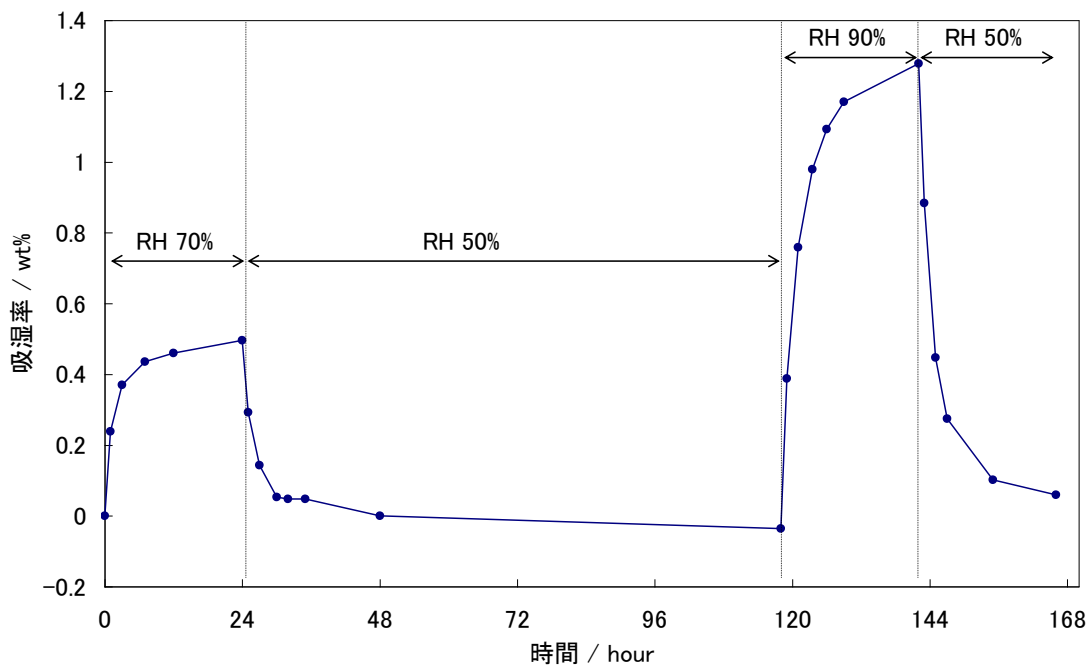


図 「床下カラッと」の吸湿率および吸放湿速度の比較

表 「床下カラッと」の吸湿率と放湿率の比較 (RH 50% ⇔ RH 70%、24 時間)

	重量 g	差 g	吸放湿率 wt%	吸放湿量 g/m ²
吸湿過程	167.45→168.28	0.83	0.496	45.51
放湿過程	168.28→167.45	0.83	0.496	45.51

表 「床下カラッと」の吸湿率と放湿率の比較 (RH 50% ⇔ RH 90%、24 時間)

	重量 g	差 g	吸放湿率 wt%	吸放湿量 g/m ²
吸湿過程	167.39→169.59	2.20	1.314	120.64
放湿過程	169.59→167.55	2.04	1.203	111.87

実験棟による調湿試験

実験棟（床下面積 3 坪 2700 mm×3600 mm×600 mm 布基礎）に床下調湿材施工棟と未施工棟を設け、湿度変化を測定（エスペックミック株製 サーモレコーダ RS-12）。

床下調湿材には床下カラットを用い、下部にポリエチレンシート（厚さ 0.01mm）を敷き、その上に 40 kg/坪（層厚 20 mm）施工。

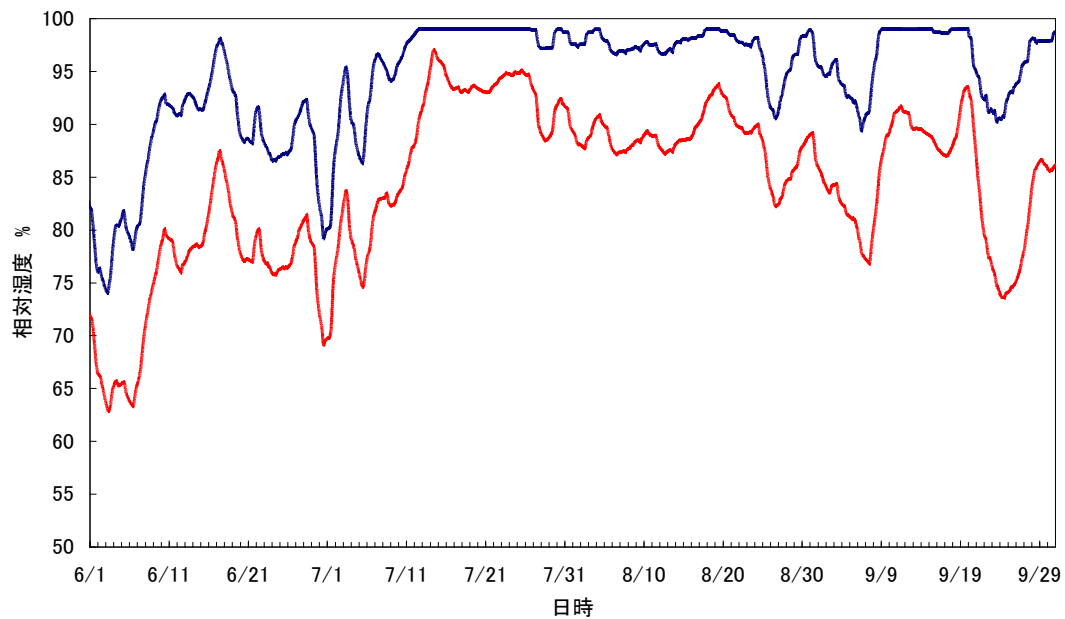


図 2006年 梅雨期（7月）、秋雨期（9月）における床下の湿度変化
—：調湿材施工棟 —：調湿材未施工棟

